

第3回 JR内房線及び並走する県道 287 号線の災害復旧に係る 事業間連携に関する地方連絡調整会議

日時:令和8年 10 月 23 日(金)
11:00～12:00／WEB 開催

議事次第

1. 開会

2. 挨拶

3. 議事

①千葉県の復旧作業状況等について

(千葉県)

【資料 1】

②J Rの復旧作業状況等について

(J R東日本)

【資料 2】

③その他

(千葉県)

【資料 3】

4. 閉会

第3回 JR内房線及び並走する県道287号線の災害復旧に係る
事業間連携に関する地方連絡調整会議
構成員

敬称略

機関名	役職名	氏名
東日本旅客鉄道株式会社 千葉事業本部	執行役員 千葉事業本部長	三島 大輔
千葉県 県土整備部	県土整備部長	四童子 隆 (代理出席) 災害・建設業担当部長 大塚 生一
千葉県 総合企画部	総合企画部長	三神 彰 (代理出席) 交通計画課長 千村 寧
関東地方整備局	統括防災官	石川 武彦 (代理出席) 統括防災調整官 笹木 和彦
関東地方整備局	企画部長	清水 将之 (代理出席) 課長補佐 宮崎 達也
関東地方整備局	河川部長	室永 武司 (代理出席) 低潮線保全官 近藤 誠
関東地方整備局	道路部長	馬渡 真吾 (代理出席) 道路企画官 小澤 知幸
関東運輸局	鉄道部長	中谷 誠志

(事務局) 関東運輸局鉄道部技術・防災第一課

千葉県の復旧作業状況等について

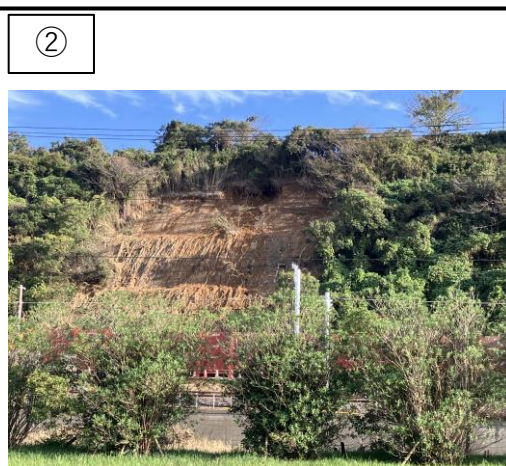
県道287号 袖ヶ浦姉崎停車場線（袖ヶ浦市久保田・市原市椎津）の復旧状況



写真：10月22日時点



軌道及び路面の土砂撤去（JR）



仮設防護柵設置中（県）



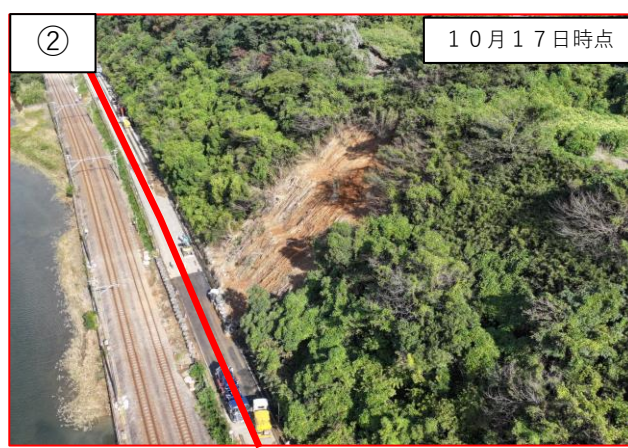
擁壁背面及び路面の土砂撤去中（県）



擁壁背面及び路面の土砂撤去中（県）



県道287号線 袖ヶ浦姉崎停車場線（袖ヶ浦市久保田・市原市椎津）の復旧方針



凡例：— 仮設防護柵等の設置位置

【施工手順】

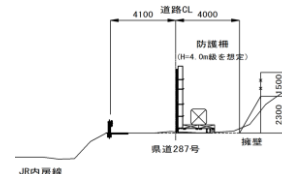
1. 県道及び鉄道に流入した土砂の撤去
2. 法面上部への仮設進入路の造成
3. 崩れ残り土砂撤去のための仮柵の設置
4. 崩れ残り土砂の叩き落とし・撤去
5. JRへの土砂流入を防止する仮設防護柵等設置
⇒11/6に全区間設置完了予定

【JR早期運転再開に向けた取り組みの好事例】

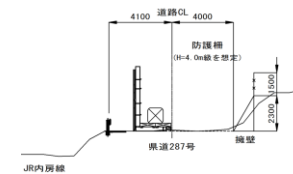
1. 速やかに関係地権者から施工承諾を得て早期に工事着手
2. 4工区では、2方向から仮設進入路を確保し、効率的な崩れ残り土砂の撤去
⇒JRによる軌道内の土砂・倒木撤去に早期着手でき、大幅な工期短縮に寄与。
3. JR工事が円滑に進むよう施工ヤードや作業分担を調整
・軌道内の土砂を大型土のうで県が再利用することで、JR側の搬出作業の効率化に寄与。
・県が道路啓開後、県道側から県が大型重機を投入し、JRの重機では撤去困難な倒木の撤去を行い、作業の効率化が図れた。

【仮設防護柵設置イメージ】

1・2工区（市原市側）



3・4工区（袖ヶ浦市側）



JRの復旧作業状況等について

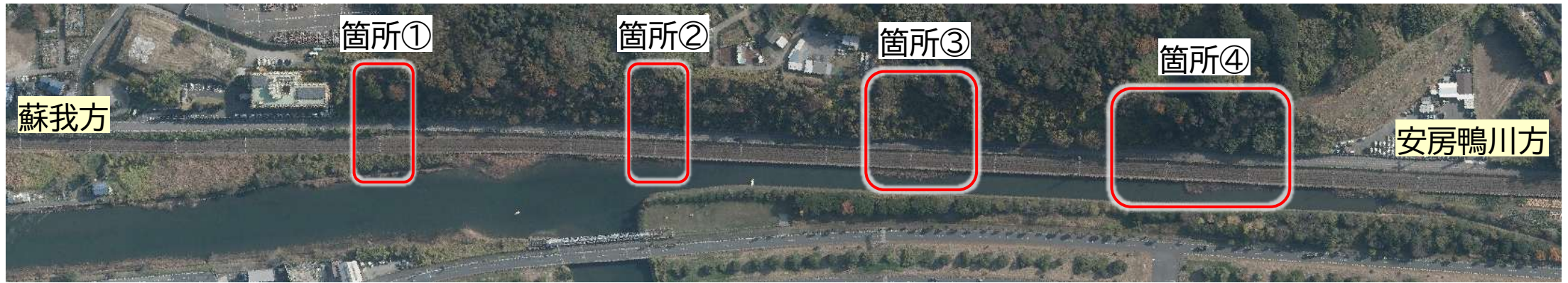
内房線 姉ヶ崎～長浦駅間の 復旧状況等について

東日本旅客鉄道株式会社

2026年10月23日

① 内房線 姉ヶ崎～長浦駅間の被害状況

◆平面図



◆被害状況(画像)



◆主な被害内容

崩壊土量 : 約1,800m³(道路への流出分含む)

② 内房線 姉ヶ崎～長浦駅間の復旧スケジュール

早期復旧を実現した工夫

■ 千葉県とJRの役割分担

- ・ 千葉県は県道と斜面、JRは線路内作業に役割を分担
- ・ 県道側から大型重機を活用し、線路内の倒木や土砂を効率的に撤去
- ・ 千葉県による不安定土砂の早期撤去

■ JR内の復旧工程の最適化

- ・ 保線・土木・電力・信号通信の復旧工事の作業進捗と今後の作業予定を緊密に共有
- ・ 安全を確保したうえで、可能な作業を並行して実施することで復旧工程を短縮

■ 安定した天候

- ・ 復旧作業着手後、降雨等による休工が無く連日の作業が実現



③ 安全対策

運転規制の見直し

- 土砂崩壊が発生した箇所に対して、千葉県で対策工事を進めています。
- 運転再開にあたり、当該区間の降雨時の運転規制基準をより厳しく設定することで、早期に運転規制を行います。

[大雨に対する取組み | JR東日本なるほどQ&A Guide:JR東日本](#)

(参考) 内房線 姉ヶ崎～長浦駅間の被害・復旧状況

工区①：17k000m付近



起点方（姉ヶ崎）より撮影
着工前



起点方（姉ヶ崎）より撮影
10月16日

(参考) 内房線 姉ヶ崎～長浦駅間の被害・復旧状況

工区①：17k000m付近



線路内より撮影
着工前



線路内より撮影
10月16日

(参考) 内房線 姉ヶ崎～長浦駅間の被害・復旧状況

工区②：17k195m付近



起点方（姉ヶ崎）より撮影
着工前



起点方（姉ヶ崎）より撮影
10月16日

(参考) 内房線 姉ヶ崎～長浦駅間の被害・復旧状況

工区②：17k195m付近



線路内より撮影
着工前



線路内より撮影
10月16日

(参考) 内房線 姉ヶ崎～長浦駅間の被害・復旧状況

工区③：17k330m付近



起点方（姉ヶ崎）より撮影
着工前



起点方（姉ヶ崎）より撮影
10月16日

(参考) 内房線 姉ヶ崎～長浦駅間の被害・復旧状況

工区③：17k330m付近



線路内より撮影
着工前

○ 上部に落ち残り有



線路内より撮影
10月16日

(参考) 内房線 姉ヶ崎～長浦駅間の被害・復旧状況

工区④：17k550m付近



起点方（姉ヶ崎）より撮影
着工前



起点方（姉ヶ崎）より撮影
10月16日

(参考) 内房線姉ヶ崎～長浦駅間の被害・復旧状況

工区④：17k550m付近



終点方（長浦）より撮影
着工前



終点方（長浦）より撮影
10月16日

(参考) 内房線姉ヶ崎～長浦駅間の被害・復旧状況

工区④：17k550m付近



線路内より撮影
着工前



線路内より撮影
10月16日

シェアサイクルの状況等について

姉ヶ崎・長浦間におけるシェアサイクルの運用状況について

実施 関東地方整備局千葉国道事務所
JR・千葉県・市原市・袖ヶ浦市

鉄道運休中の移動を支える自転車による代替交通の実証の取組

協力 OpenStreet(株)
シナネンモビリティPLUS(株)

10月14日

130台で運用開始 ⇒ 300台へ拡大

姉ヶ崎ポート20台、長浦ポート110台

10月16日

300台へ拡大

利用台数の推移

平日の運用台数は順調に増加、延べ約2,600台の利用

運用当初:174台/日 ⇒ 直近利用台数:426台/日

想定ルート 約6.5km

国道16号自転車歩行者道経由
／自転車 約30分

※国道16号の歩道は自転車歩行者道
交通ルールを順守し、自転車も走行可能

姉ヶ崎ポート

西口2号公園

姉ヶ崎駅から徒歩 約3分

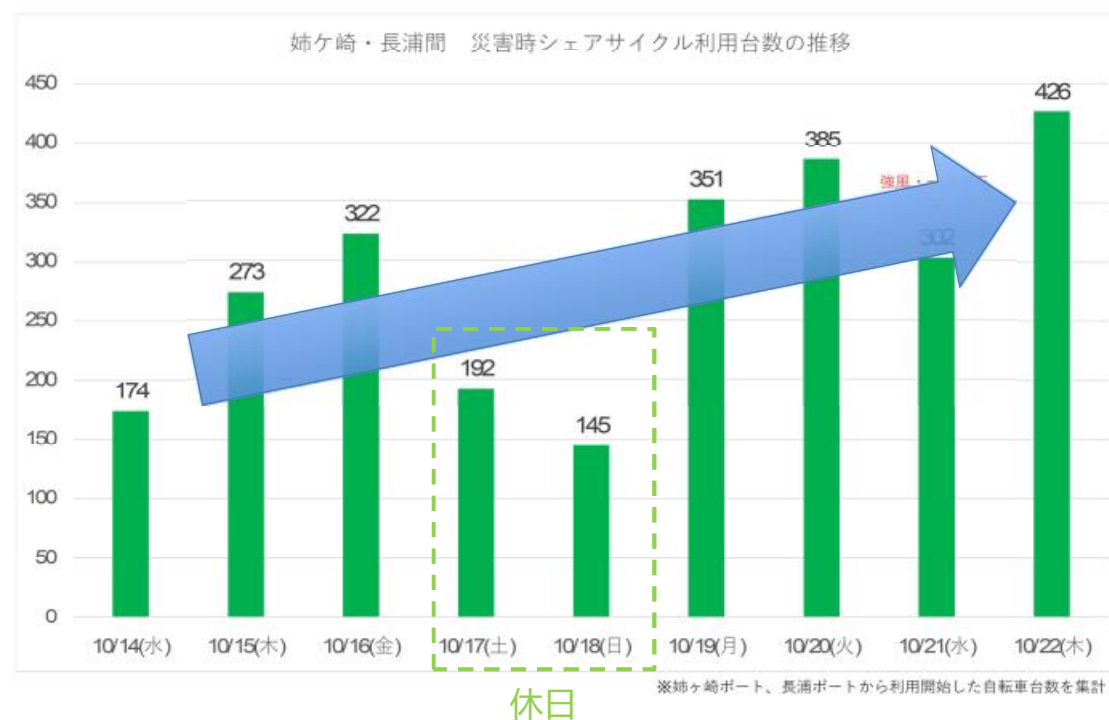
長浦ポート

臨海自動車駐車場

長浦駅から徒歩 約5分



地図：国土地理院淡色地図／緑線：想定ルート（概略） ※徒歩・走行時間は概算。



利用方法・料金

HELLO CYCLINGアプリで会員登録・予約・貸出・返却

実証ステーション間は無料

(姉ヶ崎・長浦間は無料。一定時間を超える場合は有料)

利用方法・条件は利用案内で確認

安全・運用・検証

国道16号の歩道は自転車歩行者道(歩行者優先・自転車通行可能)

ヘルメット着用、歩行者優先、信号・一時停止の遵守

車両の偏りに応じた回送、充電・点検を実施

利用実績・所要時間・満車や不足等を把握し運用改善

利用状況、利用促進の取り組み、今後の展開

通勤通学での利用

利用者のピークは朝夕
通勤・通学利用が多い



安全通行・交通ルール順守

走行環境の整備
ヘルメットの貸出



鉄道利用者への周知

姉ヶ崎・長浦駅での掲示
県・両市職員による周知



今後、有効性や導入条件を整理

利用実績

所要時間や利用回数など
移動への効果

代行バス等からの転換、
アンケート調査(利用者評価)